

市長 大木 哲 さとの

神奈川県

やまとし
大和市



健康創造都市やまと

【データ】 ※平成 28 年 4 月 1 日現在

- ・人 口: 233,575 人
- ・世帯数: 102,747 世帯
- ・面 積: 27.09 km²
- ・市の花: 野ざく
- ・市の木: 山ざくら
- ・市の鳥: オナガ
- ・イベント: 大和市民まつり (5月)
- 神奈川大和阿波おどり(7月)
- 渋谷よさこい (10月)

■大和市の紹介

大和市は、都心から 40km 圏内で神奈川県の中央部に位置し、南北に細長く、丘陵起伏がほとんどない平坦な地形の市です。

市内には鉄道網が整備され、東京都心や横浜中心部へのアクセスも優れていることから、住宅を中心としたベッドタウンとして発展し、県内で 2 番目の人口密度の街となっています。





■健康都市に向けた取り組み

1. 「人の健康」「まちの健康」「社会の健康」

大和市は、平成 21 年、「健康都市やまと」を宣言するとともに、「健康創造都市やまと」を将来都市像とする第 8 次大和市総合計画を策定しました。この計画は、「人の健康」「まちの健康」「社会の健康」の 3 つの健康づくりを推進することにより、都市そのものを健康にしていくための大きな指針として策定したものです。

<主な取り組み例>

<p style="text-align: center;">人の健康</p> <p>心身の健康や、元気で生き生きとした暮らしを実現する領域</p>	<p>子どもを生き育てやすい環境づくり 出産費や不妊・不育症の治療費を助成 中学三年生までの小児医療費を助成 保育所入所待機児童ゼロを達成</p> <p>学校での読書活動推進 司書を全小中学校に配置 児童・生徒の読書量が大幅増（文部科学大臣表彰）</p>	<p style="text-align: center;">合計特殊出生率が上昇！</p> <p>H25 年：1.41（県内市 1 位） H26 年：1.39（県内市 2 位）</p>
<p style="text-align: center;">まちの健康</p> <p>安全で快適な都市空間を整えていく領域</p>	<p>スタンドパイプ消火資機材の配備 災害時の初期消火、延焼防止のため、自主防災組織に配備</p> <p>災害時のトイレ対策 災害時に断水しても使える携帯トイレの備蓄を呼びかけ</p> <p>コンビニ等への AED の設置 コンビニ・郵便局・公共施設・民間事業所など 市内約 340カ所に AED を設置</p>	
<p style="text-align: center;">社会の健康</p> <p>コミュニティを充実させ、活力に満ちた地域社会を築いていく領域</p>	<p>女子サッカーのまち やまと 「健康都市やまと」のシンボルとして地域スポーツを振興</p> <p>さがみの国大和フィルムコミッション 映画、TV ドラマ等のロケーション撮影に伴う支援 や誘致を積極的に実施</p>	 <p style="text-align: center;">大和市イベントキャラクター ヤマトン</p>

2. 「60歳代を高齢者と言わない都市 やまと」宣言

急速な高齢化が進展するなか、市民の皆さんにいつまでもはつらつと元気に活躍していただきたいという思いを込めて、大和市は60歳代の方を「高齢者」と言わないことを宣言しました。この宣言は、様々なメディアで報道されるなど大きな反響がありました。

「60歳代を高齢者と言わない都市 やまと」宣言

- ・人生80年の時代を迎え、これまで高齢者とされてきた世代の意識も大きく変わり、今では、多くの方々が生き生きと過ごしています。
- ・家庭や地域を支えている方、職場で頑張っている方など、豊かな知識と深い経験を持つ人材は大和の貴重な宝です。
- ・こうした方々に、いつまでも、はつらつと元気に活躍していただきたいと考え、ここに「60歳代を高齢者と言わない」ことを宣言します。

平成26年4月1日

3. 「保健師・管理栄養士の地域訪問」と「外出したくなるまちづくり」

この取り組みは、平成27年11月の第4回「健康寿命をのぼそうアワード」において厚生労働省健康局長優良賞を受賞しました。

【保健師・管理栄養士の地域訪問活動】

平成25年度から市内のモデル地区において、糖尿病の重症化や慢性腎臓病、低栄養による虚弱などのリスクを抱える市民を、市の保健師、管理栄養士が訪問し、6ヶ月にわたって生活習慣改善指導や栄養指導などを行っています。

これまでのように市の健康教室等に来ていただくのを待つだけでなく、繰り返し訪問や電話連絡を取り、生活状況に合わせた指導を行いました。

その結果、糖尿病の方のBMIやHbA1c、空腹時血糖値の大幅な改善や慢性腎臓病の状態改善、低栄養の方の体重増など、目に見える成果が出ました。

この地域訪問活動は、平成28年度から全市域において実施しています。



【外出したくなるまちづくり】

近年の様々な研究などから、生活習慣病予防のために、歩くこと、体を動かすこと、人と触れ合うことなどが重要であることが明らかになってきています。こうしたことから本市では、市民が外出したくなるまちづくりを総合的に進めています。

コミュニティバスの路線拡充や、市内約100の公園への健康遊具の設置、地域の居場所作り、健康をコンセプトとした「健康図書館」の整備などを進めています。



ヤマトンも健康遊具で運動

大和市は健康都市連合日本支部の皆様とともに、今後も3つの健康を推進する「健康都市 やまと」の実現を目指し、健康寿命の延伸や少子高齢化対策に取り組みます。